

# 「教育県大分」 創造に向けた地域別意見交換会 in 宇佐 開催概要

[開催日：令和4年7月6日(水)]

【学校訪問】 宇佐市立駅館小学校

【訪問者】 大分県教育委員会（岡本教育長、教育委員、理事、教育次長 他）

宇佐市教育委員会（高月教育長、教育委員、課長 他）

## 【宇佐市立駅館小学校の概要】

学校の教育目標を「学び合い、互いの良さを認め、ねばり強く協働しようとする子どもの育成」、育成を目指す資質・能力を「言語・コミュニケーション能力」とし、以下4つの重点目標を設定している。

- (1)自分の考えを持ち学び合い、自己伸張する子どもの育成
- (2)人の考えを聴き、協働する子どもの育成
- (3)ねばり強く考え創意工夫する子どもの育成
- (4)残業時間の削減

具体的な取組として(1)ではネームプレートやホワイトボード、タブレット等を活用し、自分の考えを持つ場を設定する。(2)では生徒指導の3機能を意識した問題解決的な授業展開を行なう。(3)では、生活科・総合的な学習の時間を中心とし、地域人材を活用した「ふるさと学習」を行なっている。

## 【駅館小学校の特色ある取組】

### (1)教科担任制による教職員の協働

高学年だけでなく中学年でも学級担任間の交換授業を導入している。1つのクラスに複数の教員が関わることで、児童を多面的に捉え、生徒指導の充実を図っている。また教員の専門性を生かした魅力ある授業づくりを推進し、効果的な指導法を教科部会で交流することで組織的な授業改善並びに若手人材の育成にもつなげている。

### (2)ICT を効果的に活用した児童の協働的な学び

市の「GIGA スクールサポーター」を活用し、ICT の積極的利活用を推進している。授業では「ロイロノート」による意見の交流・共有を踏まえ、自分の考えをアウトプットする場を設定し、児童の協働的な学びを充実させている。

### (3)地域との協働による活用力を高める取組

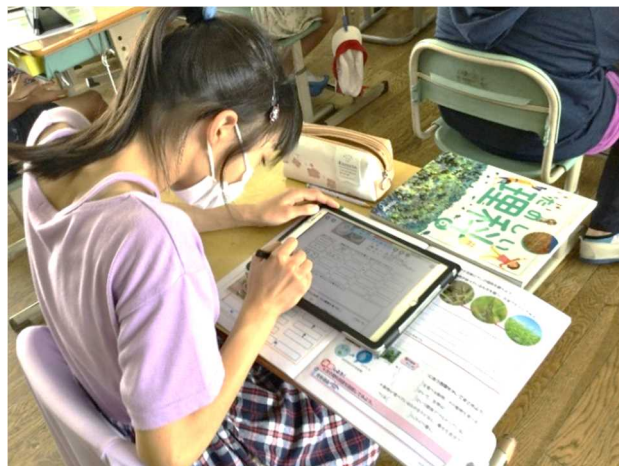
駅館平和を願う日、米作り体験、校区探検から駅館地区の良さを発信する学習を行い、学校・家庭・地域が協働し児童の「言語・コミュニケーション能力」を高める取組を行っている。

## 【学校訪問での意見交換内容】

- ・ICT を活用した意見交流を行うことにより、児童が多様な意見を出しやすくなり、主体的な学びにつながっている。意見交流の場面では「共感的な人間関係」を育む場であることも留意し、個々の考えや思いをお互いに尊重する態度も養ってほしい。
- ・外国語の学習について、コロナ禍にあって対話活動が制限されるなど、授業展開に苦慮されている状況であると思うが、児童を引きつける指導法を工夫し英語を楽しく学べるようにしてほしい。



コロナ感染対策を図りながら、子どもたちの学びを止めない取組を依頼（岡本県教育長）



タブレット端末を用いた授業の様子

【意見交換会テーマ】「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上  
～「協働的な学び」がつなぐ学力向上の取組について～

【出席者】学校訪問参加者 及び 宇佐市立小・中学校長（小学校5校、中学校2校）

## 【「協働的な学び」がつなぐ学力向上の取組について】

### (1) ICT を効果的に活用した児童生徒の協働的な学び

- ・学習支援ソフトで学習課題に迫るための情報収集、ドリルソフトで既習事項の振り返り等により、「知識・技能」の定着に効果的に活用されている。
- ・情報を活用して自分の考えを形成し、対話を通して学びを深める「思考力・判断力・表現力」等の向上に向けた活用を更さらに推進している。

⇒タブレット端末と紙媒体を併用した「ハイブリッド学習」を推進。

- ・思考ツールを用いて、自分の考えをタブレット・紙面上で可視化。
- ・ロイロノートの生徒間通信で友達の考えと比較・検討し、自分の考えを再構築。



「協働的な学び」がつなぐ学力向上の取組を説明（宇佐市教育委員会 都課長）

### (2) 教職員の協働的な学び

- ・それぞれの学校で「授業改善会議」を実施し、教職員の「授業力」や「同僚性」が向上している。
  - ・市教委主催で「若手教員研修」を実施し、経験の浅い教職員の人材育成を図っている。
  - ・学校間で学びを共有する場の整備を推進している。
- ⇒遠隔会議アプリを活用した学びの場づくりを整備。

### (3) 地域との協働的な学び

- ・「ふるさと学習」で体験活動に基づく探究的な学習を通して、児童生徒の対話的な学びの深まりや学ぶ意欲の向上につなげている。
  - ・コロナ禍においても学校の実情に応じたカリキュラムマネジメントにより地域との協働をさらに推進している。
- ⇒学校運営協議会の活用、学校と「協育」コーディネーターが連携し、地域人材や地域教材の整備を推進。

## 【意見交換の内容】

### (1) ICT の効果的な活用について

- ・思考ツールを活用して自分の考えを持たせたグループ交流を行う等、ICTを気負いなくツールとして使っている。黒板やノートとICTの実践をつなぐことで職員同士もつながる。
- ・ICTの活用と児童生徒の学力向上との相関を分析する必要がある。その結果、ICTの効果を実感することができれば、先生方の意欲や技術力向上につなげられる。



目標協働達成は、学校・家庭・地域で目的を共有する必要性について発言（宇佐市教育委員）

### (2) 地域との協働について

- ・学校運営協議会において「協育コーディネーター」として活動しているが、市教育委員会や学校と実施する内容等についてすり合わせていくことで、その役割や目的が明確になっている。
- ・学校・家庭・地域が協働するために『「共有」と「協働」』をキーワードとした取組が必要である。